U&R Portal 紹介・説明スライド

RAVIE'S Safety

避難ナビ・安否確認・罹災証明の準備

利用者用 ｜ ささえる・まもる



PN2026-25 ｜ 2026 年 10 月 16 日 ｜ v1.1 ・利用者用

U&R GROUP ソフトウェア開発・運用事業部 RAVIES

利用者用

この資料について

RAVIE'S Safety を使う方（利用者・家族グループの管理者・家族グループのメンバー）向けの資料です。

- 公式サイトの RAVIE'S のページと、U&R Portal の「使い方の資料」から開けます。
- 画面写真は、説明のために見本のデータを入れて撮影したものです。利用シーンの写真は AI で作ったイメージです。



RAVIE'S Safety とは

避難ナビ・安否確認・罹災証明の準備

災害への備えから、災害時の避難、被災後の手続きまでを１つの画面で済ませる防災システムです。走れる・ゆっくり・杖・車いす・乳幼児連れなど、その人の避難のしかたに合わせて最寄りの避難場所を探し、地図やカメラ映像の上に音声・文字・絵で道案内します。家族の安否と位置の共有、緊急カード、被害写真の記録や罹災証明書の申請の下書きまで用意しています。



ここがポイント

1. 一人ひとりの避難のしかたに合わせて、避難場所・経路・案内のしかたが変わる（車いすは段差回避、耳が聞こえにくい人は振動で知らせる など）
2. 通信が切れても案内は止まらない（経路が取れなければ方角と距離で案内。開いた範囲の地図と避難場所を端末に控える）
3. 位置は本人が同意したときだけ保存。運営者でも他人の記録・写真・位置は見られない
4. 被害写真は受け取ったまま保管し差し替えできない（罹災証明の証拠のため）。削除は理由必須で履歴に残る
5. 気象庁・国土地理院・ハザードマップポータル・ OpenStreetMap の公的データを使い、出典を画面に表示



使う人と、できること

利

利用者

避難のしかた・自宅・家族・連絡先を登録し、平時は備蓄や持ち出し袋、マイ・タイムラインで備える。災害時は避難ナビ・安否の報告・緊急カード・SOS、被災後は被害写真の記録と罹災証明書の下書きを作る

家

家族グループの管理者

グループを作り、招待コードを発行・作り直し、集合場所を設定し、メンバーを外す・立場を変える

家

家族グループのメンバー

招待コードで参加し、安否を報告する。仲間の安否と、同意した人の位置を見る。自分の位置共有の同意を入切する



使う人ごとの画面

利用者



あいさつと避難のしかた、自宅地域の注意報・最新の地震

家族グループの管理者



招待コードの発行・作り直しと、メンバーの立場・位置共有

家族グループのメンバー



家族グループの安否と位置。集合場所も全員の画面に

主な機能

1. 避難のしかたの登録（移動 9 種・年齢・配慮 14 種・医療情報・ヘルプマーク・家族構成）と、それに合わせた案内
2. 災害の種類（地震・洪水・土砂・津波・火事・高潮・内水氾濫・火山） × 移動のしかたで最寄りの避難場所を検索
3. 避難ナビ：地図モードとカメラモード（矢印を映像に重ねる）、音声・文字・絵・振動で案内、経路を外れたら再探索、到着の判定
4. 車いす・ベビーカーは段差・階段を避ける経路。階段があれば警告
5. 訓練モード（自宅から避難先まで 6 倍速の模擬で歩く）



避難のしかた：移動 9 種・年齢・配慮 14 種から選ぶ

主な機能（つづき）

6 安否：無事／避難中／助けて。家族グループ（招待コード・集合場所）、同意した人だけ位置共有。 171 ・ web171 ・ SMS

7 備え：備蓄の必要量の自動計算と期限、非常持ち出し袋、マイ・タイムライン、家族の約束、住まいの安全チェック、避難場所の下見と端末への保存

8 手続き：被害写真の記録（撮り方の指針・原本保管）、罹災証明書の申請の下書きと印刷（PDF）、支援制度の一覧、市区町村の窓口

9 防災情報：自宅地域の警報・注意報と警戒レベル相当、地震・津波、ハザードマップの重ね合わせ

10 緊急カード・ SOS ：全画面カード、ホイッスル音、画面の SOS 点滅、ライト、現在地の共有



自宅地域の警報・注意報と、警戒レベル相当の行動

画面で見る

RAVIE'S Safety の画面

スマートフォンとパソコンの画面を、見本のデータを入れた状態で順に紹介します。



1. ホーム（平時）
2. ホーム（災害モード）
3. 避難（計画）
4. 経路の確認
5. 避難ナビ（案内中）
6. 安否
7. 助けを求める（ SOS ）
8. 備え
9. 手続き（被災後）
10. 防災情報
11. 緊急カード・ SOS
12. 設定・避難のしかた

画面で見る

ホーム（平時）

あいさつと登録した避難のしかた、いまの状況（自宅地域の警報・注意報、最新の地震・津波）、「避難場所を確かめる」「訓練してみる」、備えの進み具合のチェックリスト（避難のしかた・自宅・下見・連絡先・備蓄・持ち出し袋・タイムライン・家族の約束・訓練）



あいさつと避難のしかた、自宅地域の注意報・最新の地震

画面で見る

ホーム（平時）（つづき）



パソコンでは左にメニュー。いまの状況と備えの進み具合

画面で見る

ホーム（災害モード）

大きなボタン：避難する（最寄りの避難場所へ案内）・無事を知らせる・助けを求める・ライト・SOS・緊急カード・警報・地震の情報・家族の安否。「平時に戻す」で解除



「災害が起きたら」で災害の種類を選んで切り替え



大きなボタンで避難・無事・助けて・ライトへすぐ進める



最新の地震と津波注意報。お住まいの県の震度も表示

画面で見る

避難（計画）

何から避難するか（災害の種類）と移動のしかたを選び、「現在地から探す」「自宅から探す」で近い避難場所を一覧。「ここへ」で経路へ。「いつもの避難先」への登録、訓練（模擬で歩く）



何から避難するか・移動のしかた・どこから探すかを選ぶ



自宅に近い避難場所の一覧。いつもの避難先が先頭に



近くの避難場所を地図で。洪水の浸水想定も重ねられる



訓練モード。自宅から避難先までを 6 倍速で模擬して歩く

画面で見る

避難（計画）（つづき）



洪水のときに使える避難場所。福祉避難所も一覧に

画面で見る

経路の確認

距離・経路の種類・案内の順番を表示。案内の見せ方（地図／カメラ）を選び「案内を始める」。地図アプリで開くことも可



距離・時間と経路の種類。ベビーカーは段差を避ける経路



案内の順番と、地図／カメラの見せ方を選んで出発

画面で見る

避難ナビ（案内中）

地図またはカメラ映像の上に矢印と案内文、残りの距離と時間。ボタン：音声・カメラ・再探索・助けて・終了。暗いときは「ライトを点けてください」と表示



地図の上に経路と次の曲がり角。残りの距離と時間



カメラ映像に進む方向の矢印を重ねて案内



周りが暗いと「ライトを点けてください」と知らせる



避難先に着くと到着を知らせ、安否の報告へ進む

画面で見る

安否

わたしの状態（無事です／避難中です／助けが必要です）、災害用伝言ダイヤル171 ・伝言板、これまでの記録。家族グループ（メンバー・招待・地図・報告時の位置）、グループをつくる／招待コードで参加、位置共有の同意



「無事を知らせる」。ひとことと場所を添えて家族へ



わたしの状態を 3 つのボタンで。171 ・伝言板もここから



家族グループの安否と位置。集合場所も全員の画面に

画面で見る

安否（つづき）



ご近所の見守りグループ。「助けが必要」は赤で目立つ



招待コードの発行・作り直しと、メンバーの立場・位置共有



家族の集合場所（第１・第２）と連絡のしかたを決める

画面で見る

安否（つづき）



家族グループと見守りグループの安否・位置を一覧で

画面で見る

助けを求める（SOS）

家族・仲間に「助けて」を送る、119（消防・救急）・110（警察）、ホイッスル音、画面でSOS点滅



家族へ「助けて」、119・110、ホイッスル音、SOS点滅

画面で見る

備え

6 つの区分：備蓄／持ち出し袋／マイ・タイムライン／家族の約束／住まいの安全／避難場所の下見



備蓄。４人家族・７日分の必要量を自動で計算し期限も管理



非常持ち出し袋のチェック。「あなた向け」の品目つき



マイ・タイムライン。避難に時間がかかる人はレベル３で

画面で見る

備え（つづき）



家族の約束。集合場所・連絡のしかた・役割分担



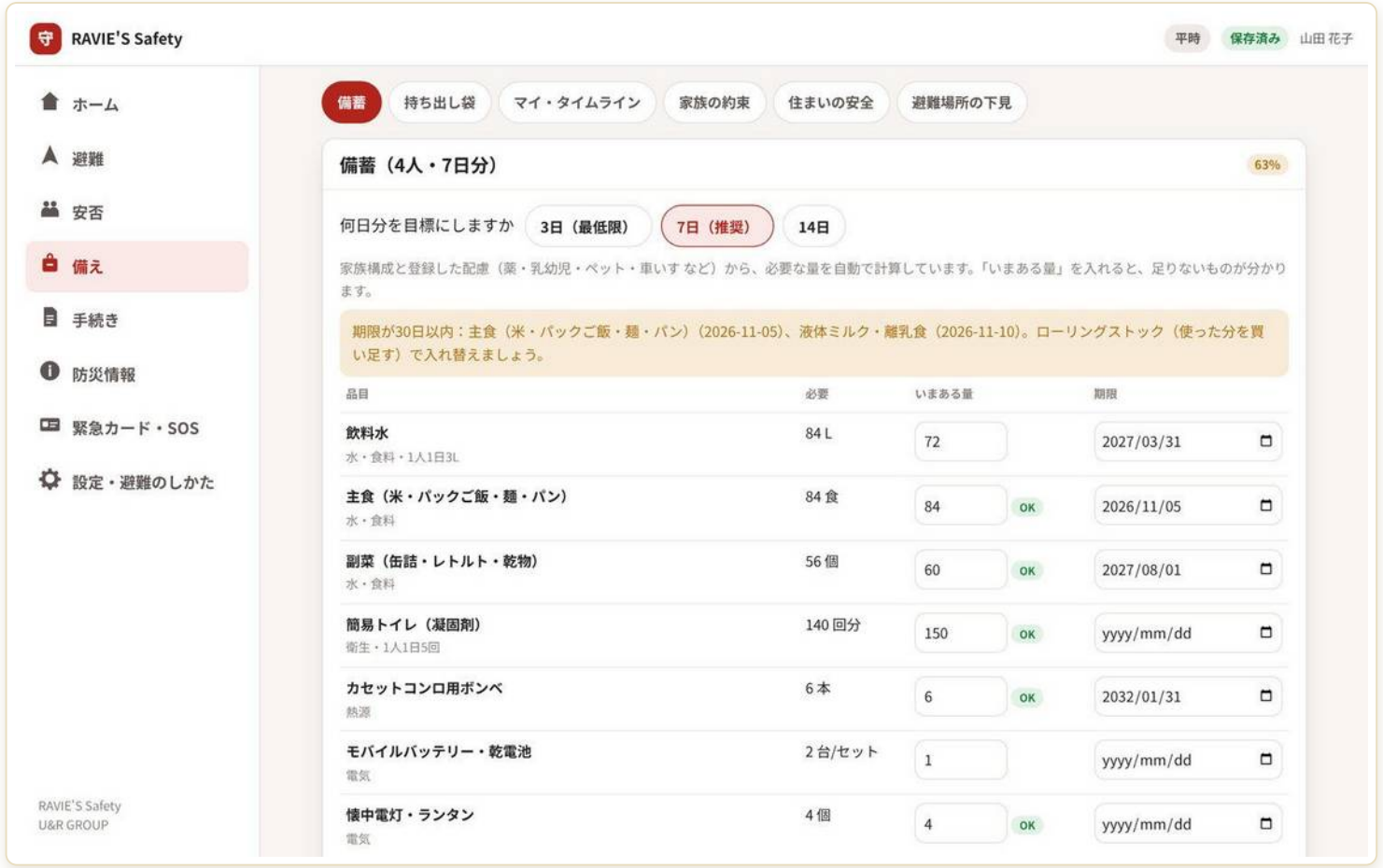
住まいの安全チェック（家具の固定・ブレーカー など）



避難場所の下見。自宅・職場・保育園の周りを端末に保存

画面で見る

備え（つづき）



備蓄の必要量・いまある量・期限を表で管理

画面で見る

手続き（被災後）

4つの区分：被害写真／罹災証明書／支援制度／窓口



被害写真の記録。片付け前に撮る注意と撮り方のコツ



撮った写真を種類ごとに。足りない全景も知らせる



写真は撮った日時とともに原本のまま保管（差し替え不可）



罹災証明書の申請準備。下書き・申請済み・発行済み

画面で見る

手続き（被災後）（つづき）



申請書の下書き。進み具合・申請者・被災した住家



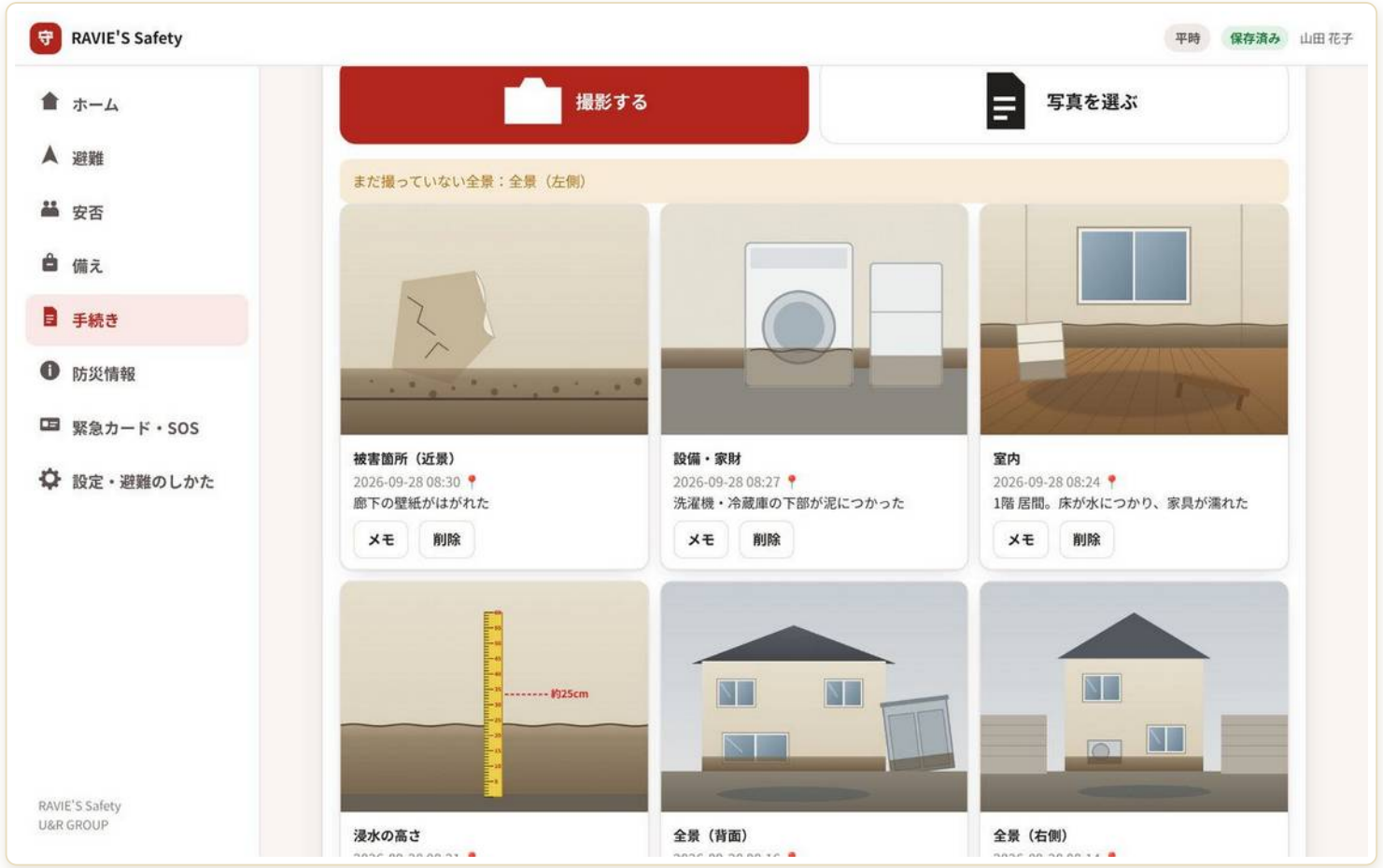
下書きを印刷・ PDF に。窓口に持っていける



被災後に使える支援制度の一覧と申請先

画面で見る

手続き（被災後）（つづき）



罹災証明の申請ごとに被害写真を整理して保管

画面で見る

防災情報

警報・注意報（現在地の地域でも見られる）、地震情報、津波情報、ハザードマップ（洪水・土砂・津波・高潮）



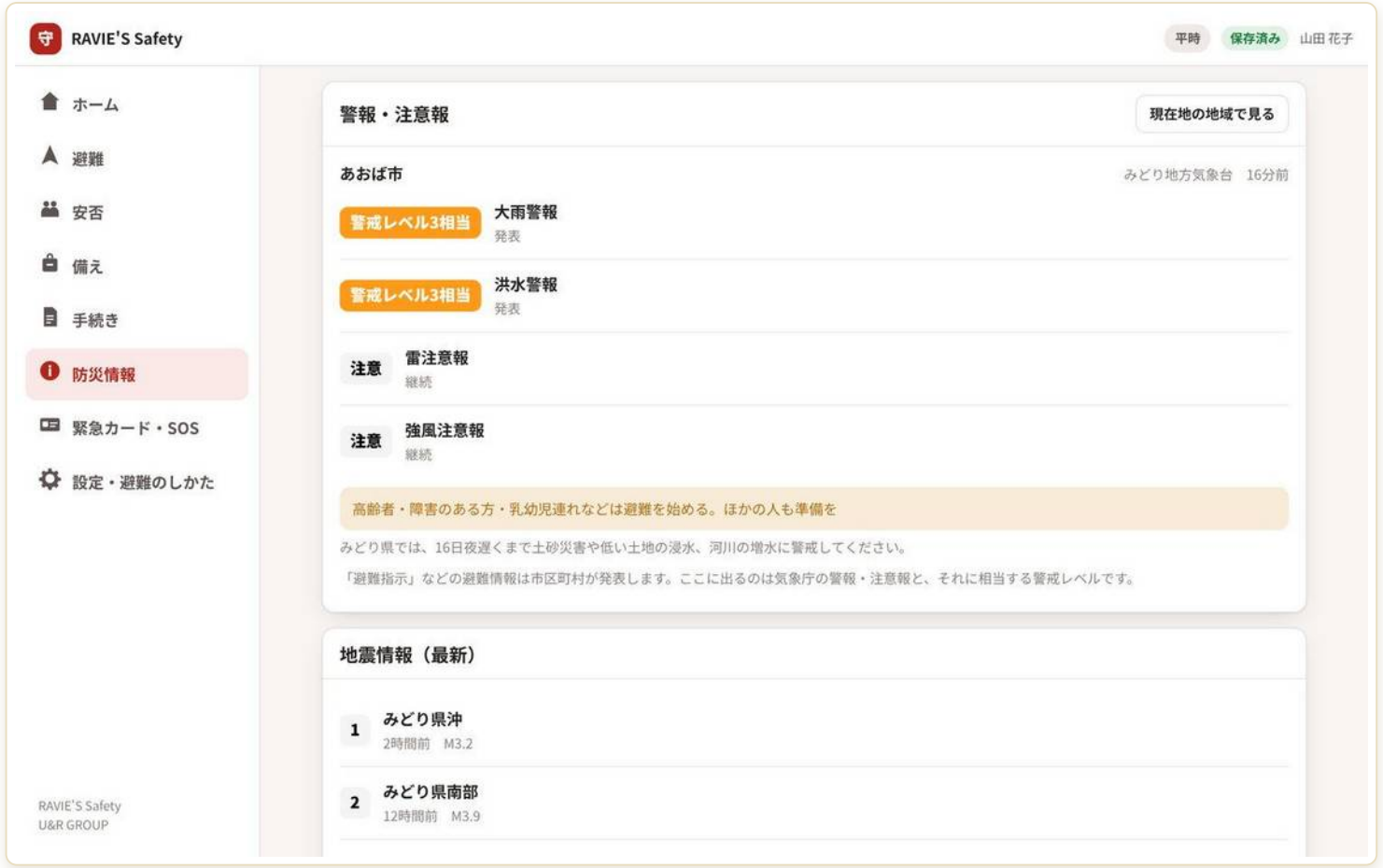
自宅地域の警報・注意報と、警戒レベル相当の行動



ハザードマップ。洪水・土砂・津波・高潮を重ねる

画面で見る

防災情報（つづき）



大雨警報・洪水警報と警戒レベル３相当の行動の目安

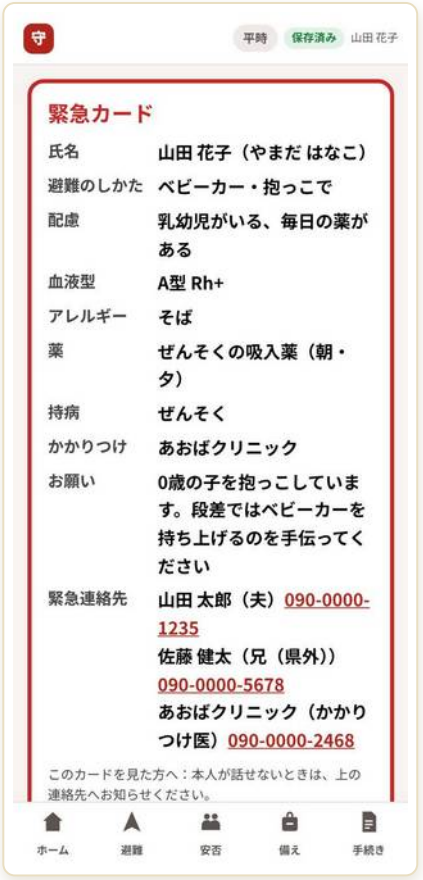
画面で見る

緊急カード・ SOS

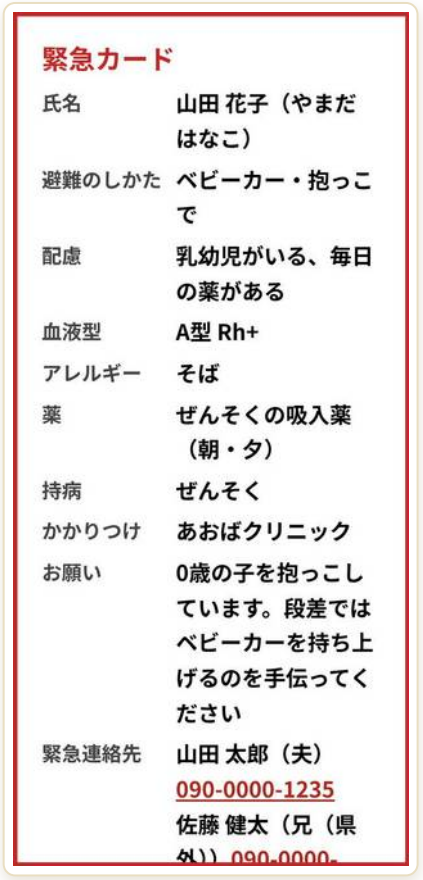
氏名・避難のしかた・血液型・配慮・薬・連絡先を載せたカード。画面いっぱいに表示・共有・内容を直す。助けて・ホイッスル・ SOS 点滅・ライト・現在地を共有



画面いっぱいの SOS 点滅で、周りの人に居場所を知らせる



名前・避難のしかた・血液型・薬・連絡先の緊急カード



画面いっぱいに出して、助けてくれる人に見せる

画面で見る

設定・避難のしかた

6 つの区分：避難のしかた／自宅・職場／家族／連絡先／表示・音声／データ



避難のしかた：移動 9 種・年齢・配慮 14 種から選ぶ



一緒に住む家族。備蓄の量と避難の計画に使う



緊急連絡先。県外の親戚も入れておくとつながりやすい



音声・振動・大きな文字・高コントラストを選べる

操作説明

画面と操作

「画面と操作」を、画面の写真といっしょに順に説明します。



1. 画面の見かた
2. 操作の流れ

画面の見かた

試作版（見本のデータ入り）の画面です。本番の画面とは、細かな見た目が異なることがあります。

ホーム（平時）

あいさつと登録した避難のしかた、いまの状況（自宅地域の警報・注意報、最新の地震・津波）、「避難場所を確かめる」「訓練してみる」、備えの進み具合のチェックリスト（避難のしかた・自宅・下見・連絡先・備蓄・持ち出し袋・タイムライン・家族の約束・訓練）









（試作版を通信なしで撮影したため、外部から取り込む情報の欄は表示していません）（長い画面を上から順に 4 つに分けて並べています）

避難（計画）

何から避難するか（災害の種類）と移動のしかたを選び、「現在地から探す」「自宅から探す」で近い避難場所を一覧。「ここへ」で経路へ。「いつもの避難先」への登録、訓練（模擬で歩く）







（長い画面を上から順に 3 つに分けて並べています）

安否

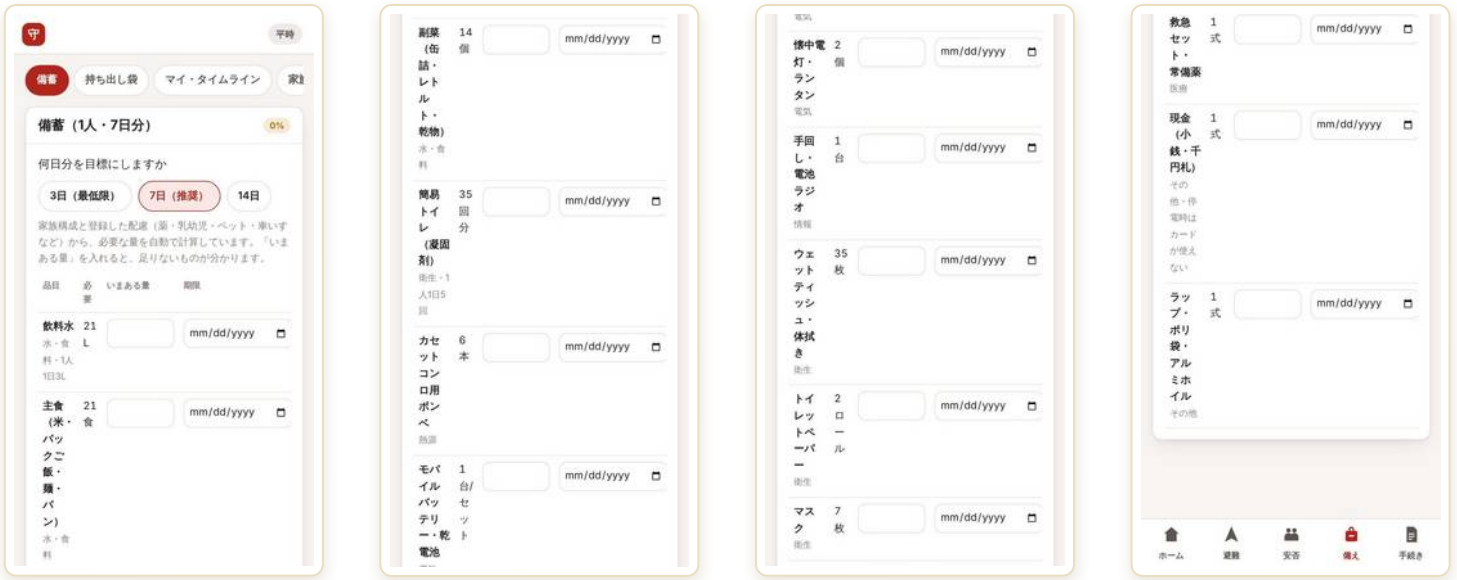
わたしの状態（無事です／避難中です／助けが必要です）、災害用伝言ダイヤル 171 ・伝言板、これまでの記録。家族グループ（メンバー・招待・地図・報告時の位置）、グループをつくる／招待コードで参加、位置共有の同意



（長い画面を上から順に 3 つに分けて並べています）

備え

6 つの区分：備蓄／持ち出し袋／マイ・タイムライン／家族の約束／住まいの安全／避難場所の下見



（長い画面を上から順に 4 つに分けて並べています）

手続き（被災後）

4 つの区分：被害写真／罹災証明書／支援制度／窓口





（長い画面を上から順に 2 つに分けて並べています）

防災情報

警報・注意報（現在地の地域でも見られる）、地震情報、津波情報、ハザードマップ（洪水・土砂・津波・高潮）







（試作版を通信なしで撮影したため、外部から取り込む情報の欄は表示していません）（長い画面を上から順に 3 つに分けて並べています）

緊急カード・ SOS

氏名・避難のしかた・血液型・配慮・薬・連絡先を載せたカード。画面いっぱいに表示・共有・内容を直す。助けて・ホイッスル・ SOS 点滅・ライト・現在地を共有





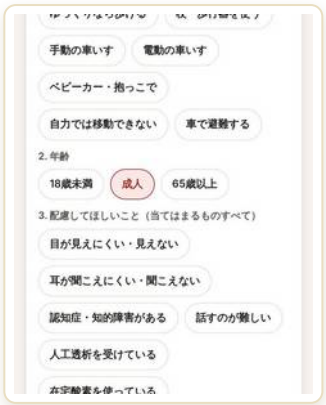


（長い画面を上から順に 3 つに分けて並べています）

設定・避難のしかた

6 つの区分：避難のしかた／自宅・職場／家族／連絡先／表示・音声／データ









（長い画面を上から順に 4 つに分けて並べています）

ほかの画面

- ホーム（災害モード）
  大きなボタン：避難する（最寄りの避難場所へ案内）・無事を知らせる・助けを求める・ライト・SOS ・緊急カード・警報・地震の情報・家族の安否。「平時に戻す」で解除

- 経路の確認
  距離・経路の種類・案内の順番を表示。案内の見せ方（地図／カメラ）を選び「案内を始める」。地図アプリで開くことも可

- 避難ナビ（案内中）
  地図またはカメラ映像の上に矢印と案内文、残りの距離と時間。ボタン：音声・カメラ・再探索・助けて・終了。暗いときは「ライトを点けてください」と表示

- 助けを求める（ SOS ）
  家族・仲間に「助けて」を送る、 119 （消防・救急）・ 110 （警察）、ホイッスル音、画面で SOS 点滅



周りが暗いと「ライトを点けてください」と知らせる

はじめて使う（避難のしかたを登録）

操作する人：利用者

1. 玄関（U&R Portal）→「アプリ」→ RAVIE'S Safety を押す
2. 「設定・避難のしかた」→「避難のしかた」で氏名・ふだんの移動・年齢・配慮してほしいこと・医療情報を入れる
3. 「自宅・職場」で住所または現在地から自宅を登録する（警報の地域・最寄りの避難場所・窓口に使われる）
4. 「家族」「連絡先」を追加する

避難場所を確かめて登録する

操作する人：利用者

1. 「避難」を開き、何から避難するか（災害の種類）を選ぶ
2. 「自宅から探す」または「現在地から探す」を押す
3. 一覧から避難場所を選び「いつもの避難先に登録」する



何から避難するか・移動のしかた・どこから探すかを選ぶ

訓練をする

操作する人：利用者

1. ホームの「訓練してみる」または「避難」の「訓練を始める」を押す
2. 自宅から近くの避難場所まで、 6 倍速の模擬で音声案内を体験する



災害時に避難する

操作する人：利用者

1. ホームで災害モードにする（いま起きている災害を選ぶ）
2. 「避難する（最寄りの避難場所へ案内）」を押す
3. 避難場所の「ここへ」→ 経路を確認し、地図かカメラを選んで「案内を始める」
4. 音声・文字・矢印に従って進む（外れたら自動で探し直す。「再探索」も可）

訓練をする（つづき）

5 到着したら「無事」を知らせる

安否を知らせる

操作する人：利用者

1. 「安否」を開く
2. 「無事です」「避難中です」「助けが必要です」のどれかを押す
3. ひとことと、いまいる場所（任意）を入れて送る（連絡先へ SMS ・共有で知らせる案内も出る）



家族グループをつくる・参加する

操作する人：家族グループの管理者・メンバー

1. 管理者：「安否」→「グループをつくる」でグループ名を入れる
2. 管理者：招待コードをコピー・共有して家族に伝える
3. 家族：玄関のアカウントで入り、「安否」→「招待コードで参加」
4. 位置を分け合うなら「災害モード・避難中は、自分の位置をグループに共有する」を入にする

助けを求める・ SOS

操作する人：利用者

1. ホームの「助けを求める」または「緊急カード・ SOS 」を開く
2. 家族・仲間に「助けて」を送る、または 119 ・ 110 へ
3. 閉じ込められたときはホイッスル音・画面の SOS 点滅・ライトで知らせる



家族へ「助けて」、 119 ・ 110 、ホイッスル音、 SOS 点滅

備蓄と持ち出し袋を準備する

操作する人：利用者

1. 「備え」→「備蓄」で何日分を目標にするか選ぶ（家族構成と配慮から必要量が自動計算される）
2. 「いまある量」と期限を入れて足りないものを確かめる
3. 「持ち出し袋」で中身をチェックし、必要なら項目を足す



被害写真を記録する

操作する人：利用者

1. 片付ける前に「手続き」→「被害写真」を開く
2. 撮り方のコツ（全景 4 方向・浸水の高さ・遠景と近景）を確かめる
3. 「撮影する」または「写真を選ぶ」で記録し、何の写真か（全景・室内など）を選ぶ
4. 削除するときは理由を書く（記録に残る）

備蓄と持ち出し袋を準備する（つづき）

罹災証明書の申請を準備する

操作する人：利用者

1. 「手続き」→「罹災証明書」→「新しく作る」
2. 災害名・被災した日・申請者・住家・被害の状況・使いみちを入れる
3. 「印刷・ PDF 」で下書きを印刷し、写真と本人確認書類を持って市区町村の窓口へ
4. 「支援制度」「窓口」で次の手続きを確かめる



画面の一覧（1／8）



ホーム（平時）（p.10）



ホーム（平時）（p.11）



ホーム（災害モード）（p.12）



ホーム（災害モード）（p.12）



ホーム（災害モード）（p.12）



避難（計画）（p.13）



避難（計画）（p.13）



避難（計画）（p.13）

この資料に載っている画面

画面の一覧（２／８）



避難（計画）（ p.13 ）



避難（計画）（ p.14 ）



経路の確認（ p.15 ）



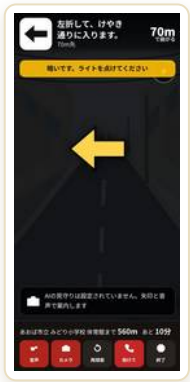
経路の確認（ p.15 ）



避難ナビ（案内中）（ p.16 ）



避難ナビ（案内中）（ p.16 ）



避難ナビ（案内中）（ p.16 ）



避難ナビ（案内中）（ p.16 ）

この資料に載っている画面

画面の一覧（３／８）



安否（ p.17 ）



安否（ p.17 ）



安否（ p.17 ）



安否（ p.18 ）



安否（ p.18 ）



安否（ p.18 ）



安否（ p.19 ）



助けを求める（ SOS ）（ p.20 ）

この資料に載っている画面

画面の一覧（４／８）



備え（p.21）



備え（p.21）



備え（p.21）



備え（p.22）



備え（p.22）



備え（p.22）



備え（p.23）



手続き（被災後）（p.24）

この資料に載っている画面

画面の一覧（５／８）



手続き（被災後）（ p.24 ）



手続き（被災後）（ p.24 ）



手続き（被災後）（ p.24 ）



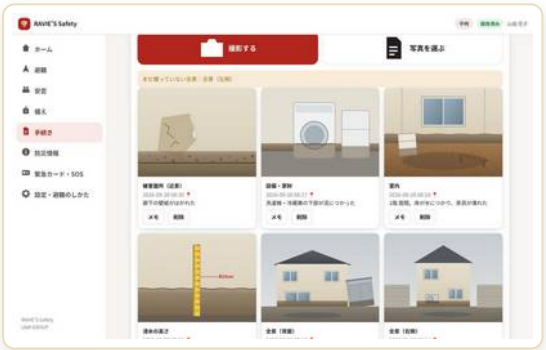
手続き（被災後）（ p.25 ）



手続き（被災後）（ p.25 ）



手続き（被災後）（ p.25 ）



手続き（被災後）（ p.26 ）



防災情報（ p.27 ）

この資料に載っている画面

画面の一覧（6／8）



防災情報（p.27）



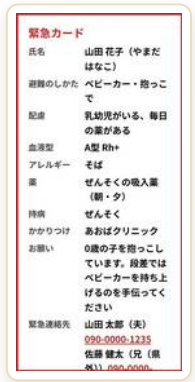
防災情報（p.28）



緊急カード・SOS（p.29）



緊急カード・SOS（p.29）



設定・避難のしかた（p.30）



設定・避難のしかた（p.30）



設定・避難のしかた（p.30）



設定・避難のしかた（p.30）

この資料に載っている画面

画面の一覧（7／8）



設定・避難のしかた（p.30）



画面の見かた（p.32）



避難（計画）（p.33）



安否（p.34）



備え（p.35）



手続き（被災後）（p.36）



防災情報（p.37）



緊急カード・SOS（p.38）

この資料に載っている画面

画面の一覧（８／８）



設定・避難のしかた（ p.39 ）

お問い合わせ・ご意見

使いにくいところ、分かりにくい言葉、ほしい機能など、どんな小さなことでもお知らせください。

お問い合わせフォーム： https://uandr-group.com/ur-group/inquiry/

メール： info@uandr-group.com



この資料について

作成日： 2026 年 10 月 16 日（ v1.1 ・利用者用）
もとにした資料：操作説明書（画面と操作）
画面写真は、説明のために見本のデータを入れて撮影したものです。利用シーンの写真は AI で作ったイメージです。
システムの改修や新しいシステムの公開に合わせて、内容を更新します。

U&R GROUP ソフトウェア開発・運用事業部 RAVIES